

第2回 横浜みなとみらいホール指定管理評議委員会議事録

1 日 時 平成 23 年 7 月 27 日 (水) 14 時～17 時 30 分

2 場 所 関内新井ビル 6 階 文化観光局会議室

3 出席者 石田 一志 委員、中村 晃也 委員、宮本 とも子 委員

4 傍聴者 3 名

5 議事内容

議題	横浜みなとみらいホール 指定管理者 指定手続き要項、業務の基準、第2期事業計画書策定項目、指名団体が作成した第2期指定管理期間における事業計画書の適合性や実行性についての審議
委員意見等	<p>1 定足数の確認 委員数 4 名のうち 3 名の出席により定数を充足しており、会議の成立を確認した。</p> <p>2 本委員会の公開・非公開について 【審議結果】 「指定管理者の選定書類及び第2期指定管理期間における事業計画書の審査」が主たる目的とするため、本委員会は公開とした。</p> <p>3 横浜みなとみらいホール 指定管理者 指定手続き要項等の確認 【事務局説明】 横浜みなとみらいホール 指定管理者 指定手続き要項等について、事務局から一括して説明した。</p> <p>「横浜みなとみらいホール 指定管理者 指定手続き要項」について 「横浜みなとみらいホール 指定管理者 業務の基準」について 「横浜みなとみらいホール 指定管理者 第2期事業計画書策定項目」について 「横浜みなとみらいホール 指定管理者 事業計画書」について</p> <p>【委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画書の策定項目で、市から、裾野の拡大について計画を書くよう求めているが、「頂点の伸長」は検討しないのか。「頂点の伸長」についてどのように考えているか。 ・事業計画書については、策定項目を忠実にカバーしている。 ・ホールセールスが大事。神奈川県の中でも、室内楽、オペラ、邦楽、演劇と多彩なジャンルの特性を持つ施設があり、その中でぜひセールスポイントとなる横浜みなとみらいホールらしい事業をつくってほしい。 ・有名な海外オーケストラなどを単発でいくら呼んでも、集積にはならない。もっと地味な事業でも、10 年間継続すること、この事業はこの時期にこのホールで必ず開催している、ということが大事。 ・オルガン事業は、全国的に見ても成功例である。 ・提案の指定管理料については、提案額の精査が必要である。 <p>4 その他 第3回評議委員会は平成 23 年 8 月中旬を予定している。詳しい日時等については別途決定する。</p>